

北海道高等学校文化連盟第4回全道高等学校 英語プレゼンテーションコンテスト開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟 国際交流専門部
- 2 当 番 校 北海道札幌月寒高等学校
- 3 期 日 平成28年5月29日(日)
- 4 会 場 北星学園大学
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号 TEL 011-891-2731
- 5 参加資格 ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する生徒。
・英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒(就学前の滞在は不問)はチームに1名までとする。
- 6 チーム構成 1チーム3～8名まで。他校との合同チームも可とする。
・ただし、機器等の操作だけを担当する生徒がいる場合は、その1名は発話をしなくても人数に含めて良いものとする。
・それ以外の生徒は必ず発話の機会を設けること。
- 7 内 容 (1) テー マ 「北海道がより多くの外貨を獲得する商品を開発、または紹介するための提案」
※ 「商品」には、旅行商品・金融商品等の「サービス商品」を含めない。
※ 市場状況・戦略、開発計画、生産・販売計画などについてリサーチを行い、実際のデータ、現地の取材、インタビュー等多角的に使ってプレゼンテーションすること。
※ 具体的にどのような広告、広報を行うのか、またどのくらいの費用がかかるのかについても触れること。
※ 「商品」の実物を提示する必要はない。
※ なお、発表する対象は外国人観光客ではなく、北海道の事業者とする。
(2) 制限時間 7分 開始後7分経過したら2回振鈴
(3) 発表方法 自由。 使用言語は英語。パワーポイント、ビデオ、スライド、紙芝居、実演、ポスターなど可。プロジェクターとスクリーンは主催者側が準備しますが、コンピュータはご持参ください。USBメモリ等を使用する場合は、当日事前に動作確認を行います。
- 8 審査基準

① 現状分析(Analysis)	5点：現状を的確に把握しているか、データに基づいているか
② 提示内容(Plan)	5点：提案に新規性、創造性、現実性があるか
③ 提案効果(Effects)	10点：より多くの外貨が獲得されるか
④ 構成(Organization & Logic)	5点：時間配分がよいか、展開がわかりやすく論理的か
⑤ 提示効果 (Visual Aids)	5点：スライド等を効果的に使っているか
⑥ 英語運用 (English & Delivery)	10点：的確な表現を使っているか、明瞭に発話しているか
⑦ 協力(Team Work)	5点：チームとしてのまとまりはあるか、各パートのつなががスムーズか
⑧ 応答(Q&A)	5点：質問に的確に答えられたか
計	50点

※Q&A一つ目の質問は Yes/No question, 2つ目は Wh- question とする

※英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒は、応答(Q&A)の回答をしないこと。

- 9 審査員 予選3名程度 決勝戦6名程度

10 時 程

8:30～	受 付	
8:50～	開会式	
9:10	予選（3会場に分けて実施）	1～3
10:10	予選	4～8
11:45	予選	9～12
12:45～13:30	昼休み	
13:30	予選結果発表	各会場上位3位までのチームが決勝進出
13:40	決勝進出チーム	1～6
15:50	結果発表 閉会式	

※ 時程は変更されることがあります。

- 11 参加費 1チームにつき3,000円（大会当日に受付で納入してください）
※一校からの出場チーム数については、最大で3チームとします。

- 12 申し込み 参加申込書に必要事項を記入 4月27日（水）までに札幌月寒高校に郵送して下さい（厳守）。また、不明な点は月寒高校 川村 啓子（kawamura.keiko@hokkaido.school.ed.jp）までお問い合わせ下さい。

- 14 賞 1～2位に優勝カップ＋賞状、3～6位に賞状を授与。その他に奨励賞あり（2校程度）。

- 15 その他 (1)地区大会の開催はありませんので、参加資格のある学校は出場可能です。
(2)昼食は各自お持ちください。
(3)上靴は必要ありません。外靴のまま会場にお入りください。
(4)宿泊先の幹旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。
(5)今後の普及のために、多くの先生方・生徒・保護者の皆さんの見学を奨励しています。
ふるってご参加ください。保護者の方の事前予約は不要です。

※ 会場に駐車場はありません。公共交通機関を使ってお越し下さい。